

玉造町のみなさん、明けましておめでとうございませう。

未来への限りない人類の発展と希望に胸をふくらむ千九百七十年の年頭にあたり、ひとごと、ごあいさつを申し上げます。

わが玉造町も十年前には関東地方の後進県茨城の、その中でも最も後進性のつよい鹿行地方としてランクされておりましたが、日本の急速な

経済成長を背景とした県政、町政における開発の努力が効をそうして、今や大きく変ぼうをとげようとしていいます。

すなわち昨年十月に開港した鹿島港と、その周辺に展開される各種工業のコンビナート化が現実のものとなり、行方台地縦貫道路もその実現への第一歩をふみだそうとしております。

その間、わたしたちの町では、中学校をはじめとして各学校の鉄筋コンクリート造りへの改築がすすみ、道路の新設、改良舗装化、農地の基盤整備、護岸工事の完工各種福祉施策の充実等々、住民が一体となった努力が実を結んでおります。

昨年末に施行された衆議院議員の総選挙においては

自民党の圧勝、社会党の総くずれといった、だれしもが予想し得なかった結果となったことは、ご存じのとおりであります。これは国民の大かたの者が戦後の繁栄を正當に評価し、急激な変革よりも平穩で漸進的な発展をのぞむ国民性のあらわれと受けとられております。

玉造町も、これらの諸状況をふまえて、国政県政のひとことまと

しての町政を第一主義として、展開させ、社会の動きを歩まねばならぬものと考えます。

「十年ひひ」と昔」といふことばがありますが、年々として努力し続ける月日は、その十年のなかの短かきことか、年がかわるごとにしみじみ思い知らされられます。

今年「七十年代」の初年度として、その「十年」のはじめの年です。みなさんとともに、良く知り、良く考え、良く実行して悔いのない発展への道を進もうではありませんか。

千九百七十年：新しい町づくりのかでに、あたりに、みなさんがたのご協力をよろしくおねがい申し上げます。

新しい10年へ鹿島立ち

平穩で漸進的な町づくり

玉造町長 坂 本 常 蔵

開拓道路が県道に昇格

行方台地 縦貫道路 第一歩ふみだす

かねてから、行方台地の縦貫道路として、鹿島工業地帯から六号国道にいたる間の道路の新設を進めてきたが、このほど、その第一歩として、玉造町上山十字路から麻生町新開間の開拓道路が県道に昇格することに決まりました。

この決定は去る十二月十二日県議会で議決されたもので、今月中に告示によって正式に県道となるものです。

この道路は、行方台地縦貫道路建設促進期成同盟会（会長、玉造町長坂本常蔵）が、鹿島工業地帯と六号国道を結ぶ、幹線道路Ⅱ四車線、幅員二十四メートルを建設し、その周辺に内陸的工業地帯を造成して地域開発の大動脈にしようとする雄大な構想のもとに、運動を展開したもので、今度の県道昇格は、その第一歩をふみだし、ようやく、この大構想のレールが敷かれたものとして大きく評価されるものです。

行方台地縦貫の構想は神栖町のわに川干拓から潮来町徳島間に架橋をし、潮来町を縦断し台地を麻生町新開までとし、これから今度県道になった開拓道路を抜けて、上山にいたり、小川町を経て、

玉川小防音校舎建築

ほねぐみ工事はしまる

玉川小学校の防音改築工事は、じまじりまじり、昭和四十一年に当町の危険校舎（五百九十二平方

12月定例議会

高浜入 推進の方針変わらず

補正予算2千72万円

（前）を改築いたしました、このたび、校舎の全部を防音校舎とするため、残っていた木造校舎をとりこわして鉄筋校舎とするもので

今年度の工事は、鉄筋コンクリート二階建、八百二十二、八平方（二百四十八・八九坪）の躯体工事（ほねぐみ工事）で、山形工務店が請負い来年三月末日までに実施します。

なお、来年度は引き続き、前に建てた部分も含め、防音校舎としての整備がととのうわけですが、今更建てる部分は普通教室二室、特別教室として音楽室、家庭室、図書室、視聴覚室、保健室、給食室、各一室の部分となります。

第四回玉造町定例町議会は十二月十二日に招集され、会期を十二、十三の両日と決めたのち、町政一般に関する質問をおこない、その後、町長提出の五議案を審議し、原案どおり可決いたしました。

一般質問では、米作転換の状況から高浜入干拓事業の見とおし、交通事故の激増する現状から、その対策や道路行政について、また昼間人口の減少にともない、消防団の有事のときの機能について、不安を訴える声が高いことから、消防団組織の改善について、町長の方針がただされしました。

これらに対し、町長の答へんをまとめると、
▽高浜入干拓事業は、国土造成という大きな立場から十年來この事業の促進をしてきたもので、一時的に国内の米があまったからと言いつて、これを中止すると言ふようなものではない。多目的な土地利用の方法で、今後もこの促進を図って行く。

▽交通事故の激増は目をおうものがあり、運転手、歩行者ともに交通ルールの厳守を呼びかけることは言うまでもないが、根本的な問題として、玉造町では、交通量に比べて道路がせますぎるものがあられる。行方台地縦貫道路はその解決策のひとつとして関係町

と協力して推進を図ってきたがその第一歩として、本日の県議会で上山十字路から麻生町新開の間に開拓道路が昇格することが議決する予定である。

なお、石岡一潮米線のバイパスは浜地先から竹の崎に至る間ぐらゐを結ぶ線建設するよう運動する方針である。

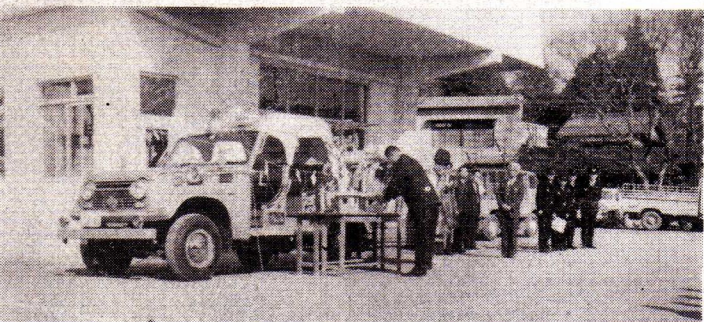
▽消防団については、その機動力を重視し、装備については除々に自動車ポンプにしているが、その組織については非常備消防としての消防団活動に依存している現状である。ただ、日曜、祭日など役場の休日を除いて昼間は常備消防と変らぬ機能をもつ消防本部の組織をもっている。完全な常備消防にするには、消防署をつくることになるが、また、その段階ではないので消防団とも協議して適切な措置をとりたい。

町長の答へが行なわれました。町長提出の議案とその内容は次のとおりです。
▽職員退職手当組合規約の一部改正の協議
市町村職員退職者に対し退職金を支払うための県内の組合に加入脱退、名称変更があったので、規約を改正するものです。
▽玉造町税条例の一部改正について

町では、十一月二十九日に消防ポンプ自動車一台を購入し、第四分団第四部（中山）に配属しました。

消防車を中山に配備

シーズンを前に体制の強化



消防車の入こん式

譲渡所得を一般所得から分離して課税する方式について必要なこととの改正

今年から予防接種のうけ方が変わりました。今まで週報や個人に通知をして、それによって、みなさんがこどもをつれて、きまつた時間に会場で母子手帳に記入してもらい、体の具合が何でもなければそのまま注射をうけていたのですが、今度、町のお医者さんがたとの話し合いでつぎのようなとりきめができました。

予防接種のうけかたが変わりました

- (1) じんましん、ぜんそくをおこしたことがありませんか
- (2) ひきつけをおこしたことがありませんか
- (3) バス、汽車によいいますか
- (4) のみぐすり、つけぐすりにまけたことがありませんか

△土地改良事業の施行について
手賀新堀と小座山間二・七キロの道路を土地改良事業として実施するために必要な議案

△一般会計補正予算
今回の補正は、二千七百七十二万円で、その主なものは○衆議員議員選挙費九十万円 ○稲作特別対策事業費四十万円 ○ため池整備費二百三十五万円 ○田園都市道路工事費等四百四十万円 ○現原小・中学校整備費百一十七万円など

△国民健康保険特別会計補正予算
療養給付費が当初の見込みより増加し、不足を生じたため百八十八万五千円を追加計上したもので

なお、議案の審議が終了後、卒台議長から議長長の辞表が提出されこれにともなう、議長をふくめ副議長、各常任委員長の辞表も提出されたことから改選がおこなわれ、次のとおり選出されました。

議長 岸台光雄 副議長 根崎正夫
総務委員長 大和田徳男 教育厚生委員長 貝塚国男
経済委員長 鈴木良 土木委員長 飯島豊雄

あけましておめでとうございます
新年あけましておめでとうございませう。
千九百七十年という年は、好むと好まざるとにかかわらず、あらゆる意味で重要な年といえましよう。

私たちをとりまく社会情勢はつきりと見詰め、しっかりと生活計画を立てて心がまえをきめましよう。

感温の低い、これからの一カ月は冬の寒さで、寒くてもおだやかな日を選んで、順々に衣類をのほかに、昨秋以来しさいこんだまのものを虫ほしをしてみてはいかがでしょうか。まず手近かにあるもの、たとえばタンスのひき出しに入れた服の和服などから少しづつ。

いっぺんにやろうとするのは無理です。四枚か五枚ずつ、ほかの仕事の合間に片づけられるように、ハンガーにかけて軒下につる方法もあります。大げさではなく、小じんまりとやっていけば、寒中の寒さも気にしないで、いつの間にか、あらかた虫干しもすませてしまえます。

▽からっとした晴天の少ない間は部屋の中でも物が乾かせるように工夫してみてください。
梅雨ときどき、おむつの干し場を考えたように、廊下や土間に干した場をつくり、半がわきにしたりと、アイロンで仕上げたり。

お正月料理のうち、いちばん重

食

衣

あけましておめでとうございませう

恵まれない子と楽しい一日

O・B団 施設の子を慰問

「恵まれない子どもたちに楽しい一日を」と、玉造町内の青年団O・Bが茨城町にある精神薄弱児の収容施設「石崎学園」と「瀬沼学園」を慰問し、モチつきなど善意のプレゼントをしてあげました。この日、施設慰問に訪れたのは玉造町のグループだけだったため午前中いっぱいばかりにモチつき風景が展開されました。午後からは子どもたちに混ってサッカーなどをして楽しんだり、保護者さんになろうと学園で実習生活をしている人たちと交歓しました。この石崎学園、瀬沼学園に収容

されているのは、精神薄弱が多く、民家からはなれたところにボツンと建設された学園で、毎日、さびしい生活をしている子どもたちは思いがけないこれらのプレゼントに大よろこび。園児たちにとってサンタのおじさんとお正月がいっしょにやってきたように、にぎやかでうれしい一日でした。

スポーツで明るい町を

ママさんバレーの講習会

十二月十二日に、中学校体育館で「ママさんバレーボール」の講習会が行なわれました。今回は試合まで行かずに講習会

毎日を元気に

昭和33年生(12才)

羽生 井野場智子



▽ここの目標 交通事故がふえていくの、このころです。事故を起さな

いよう気をつけて元気にすごしたいと思っています

▽一番楽しい時間は マンガの本を読んでいるとき

▽大人の何をするのぞきま

▽将来どんな人になりたいか

▽職業は少しいので考えられま

ハウス園芸に力を

昭和21年生(2才)

谷島 久保田 寿



▽ここの抱負 農業が曲り角にあるといわ

「子どものしつけに配慮を

昭和9年生(36才)

泉 成島 絹子



▽ここの抱負 子どもの成長したての間、人間として前進し

い親になりたいと思っています

▽ここの教育について悩

▽玉造町を見て気づくことは

▽町の発展させるには

町の人が町の中で働けるように

事故防止へ協力

大正11年生(48才)

上宿 大輪 昇



▽ここの抱負 車を扱う職業 上事故のない町をつくるた

いと思っています

▽経営面では気を使うことは

▽若人の流出の原因は

▽町を発展させるには

これからは観光面で力を入れる

べきだと思います

嫁と仲よく

明治43年生(60才)

井上 仲田 もと



▽ここの抱負 孫を大切にし 自分も家人に 迷惑をかけな

県の特選児に 手賀小の野原玲子さん

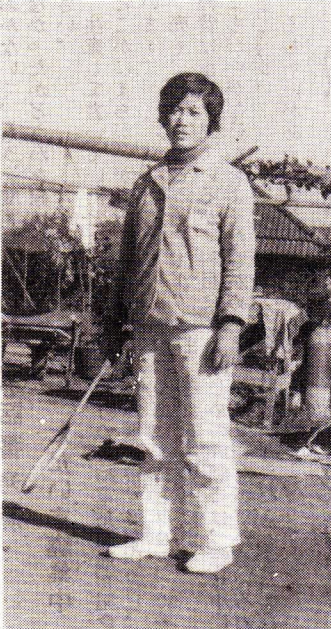
県の特選優良児童に手賀小学校六年生の野原玲子さんが選ばれました。九月二日に水戸で行なわれた第二次審査で、体力、体位の測定、などを行なった結果、県の特選優良児童十六人(男女各八人)のうちの一人に選ばれました。玲子さんは手賀地区新田の野原幸喜、和子さんの長女です。学校では学級委員や児童会役員としても活躍しており、運動は何でもこなす万能選手で、とくに機械運動、徒手体操は抜群です。学習面での成績も優秀で中でも算数と理科が得意とのこと。性格について担任の先生にお聞きすると「おとなしいが考え方が非常にしっかりしていて、クラスメート



私の家の近くに、こどもの遊び場があり、いつもにぎやかに遊んでいます。その広場の片に、古くなったスクーターがすてられてあるのです。するとそのスクーターに、男の子が変る乗って運転するまねをしています。つい近ごろ、マスコミで、子供の遊び場となっているところ

からの信頼は絶対です。正義感が強いので神経質なくらいです」と話してくださいました。玲子さんのサイズはつぎのとおりです。

身長 百五センチメートル
体重 四十五キログラム
胸囲 七十三センチメートル



健康優良特選児に選ばれた野原さん

親子の話し

合い……など

婦人会の研修会

12月9日

玉造連合婦人会主催の婦人研修会が十二月九日に青年研修所で開かれました。

研修会は十時に開かれ、研究発表、講演、レクリエーションなどが行なわれました。

午前中に「文部省委嘱新田婦人学級和歌のすがた」の三題について、それぞれ発表がありました。

その後、教育評論家の宮本正美

うにしよう。

そうには、とり合わせの材料と調理法によって、また地方によって違います。地方ばかりでなく各家庭でも、それぞれの風味があるでしょう。



…住…

△お正月はめでたくやっぱり楽しいものです。そうするためには、家庭ぐるみ気持ちを合わせていかなければなりません。

▽ここのつづきやまだからと、スト

氏を講師に迎えて「現代の家庭と教育の問題」をメインテーマにし、親子が、どうすれば良い話し合いが出来るかをみんなで考えました。

▽ここのつづきやまだからと、スト

▽ここのつづきやまだからと、スト

